



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 日本梱包運輸倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9072 URL <http://www.nikko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 黒岩 正勝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 柰田 泰典

TEL 03-3541-5331

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 28,912 | △5.5 | 927 | △59.6 | 1,134 | △48.1 | 471 | △58.7 |
| 23年3月期第1四半期 | 30,604 | 8.8 | 2,297 | 118.1 | 2,188 | 33.6 | 1,142 | 100.6 |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 135百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △993百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 6.77 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 15.96 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 182,225 | 121,762 | 66.1 |
| 23年3月期 | 184,302 | 122,401 | 65.7 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 120,539百万円 23年3月期 121,133百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 10.00 | — | 11.00 | 21.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 54,500 | △12.1 | 2,100 | △56.6 | 2,600 | △47.3 | 1,400 | △49.9 | 20.10 |
| 通期 | 118,500 | △3.5 | 7,000 | △21.5 | 8,000 | △16.0 | 4,500 | △22.7 | 64.61 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 24年3月期1Q | 74,239,892 株 | 23年3月期 | 74,239,892 株 |
| 24年3月期1Q | 4,592,006 株 | 23年3月期 | 4,590,515 株 |
| 24年3月期1Q | 69,648,313 株 | 23年3月期1Q | 71,598,559 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災により被災した工場や自動車産業等のサプライチェーンの復旧が進み、大幅に落ち込んでいた生産や輸出が徐々に持ち直しました。しかし、震災に起因する原発事故や原発の稼働停止に伴う電力不足、円高の進行、海外経済の減速などの懸念があり、先行きの見えない状況が続いております。

当物流業界におきましては、震災の影響を受けて製品や原材料などの荷動きの回復が遅れており、また燃料価格の上昇や顧客企業の物流費削減などの影響により厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは新規業務の獲得に向けた営業努力を重ねてまいりましたが、震災の影響により主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が減少し、売上高は前年同期比5.5%減の289億12百万円となりました。

営業利益につきましては、設備投資の抑制に伴う減価償却費の減少がありましたが、燃料費の増加や売上高の減少による影響で、前年同期比59.6%減の9億27百万円となりました。

経常利益につきましては、前年同期比48.1%減の11億34百万円となりました。その要因といたしましては、営業外収益が持分法による投資利益が減少したことなどにより、前年同期比16.1%減の4億円となった一方、営業外費用が投資有価証券評価損や為替差損の減少により前年同期比67.1%減の1億92百万円となったことによるものであります。

この結果、四半期純利益につきましては、前年同期比58.7%減の4億71百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

前期末に中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)を連結子会社化したことに伴う売上高の増加はありましたが、震災の影響により主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が減少し、売上高は前年同期比0.5%減の142億99百万円となりました。営業利益は、輸送効率の低下に加え燃料価格の高騰もあり、前年同期比74.8%減の1億40百万円となりました。

② 倉庫事業

震災の影響による貨物量の減少はありましたが、新規業務の獲得により、売上高は前年同期比0.1%増の43億68百万円となりました。営業利益は、固定費の削減や保管効率の向上等により前年同期比12.8%増の9億98百万円となりました。

③ 梱包事業

震災の影響による業務量の減少により、売上高は前年同期比15.5%減の70億14百万円となりました。営業利益は、売上高の減少の影響により前年同期比95.6%減の28百万円となりました。

④ テスト事業

震災以降の業務量減少により、売上高は前年同期比1.2%減の18億16百万円となりました。営業利益は、売上高の減少により固定費が吸収できず2億66百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は486億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億50百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が43億32百万円減少し、有価証券が32億28百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,335億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が9億35百万円減少し、投資有価証券が8億47百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,822億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億76百万円減少いたしました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は328億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億34百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が49億40百万円増加したことによるものであります。固定負債は276億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億72百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が50億22百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は604億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億37百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,217億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2億94百万円、その他有価証券評価差額金が1億30百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は65.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月23日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,177 | 8,845 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,135 | 21,093 |
| 有価証券 | 11,593 | 14,822 |
| 商品及び製品 | 39 | 33 |
| 原材料及び貯蔵品 | 518 | 455 |
| 繰延税金資産 | 1,403 | 1,404 |
| その他 | 1,883 | 2,041 |
| 貸倒引当金 | △18 | △13 |
| 流動資産合計 | 50,732 | 48,681 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 41,436 | 40,670 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,459 | 2,251 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 709 | 663 |
| 土地 | 61,405 | 61,364 |
| リース資産（純額） | 182 | 97 |
| 建設仮勘定 | 171 | 382 |
| 有形固定資産合計 | 106,365 | 105,430 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 301 | 287 |
| その他 | 1,600 | 1,614 |
| 無形固定資産合計 | 1,902 | 1,901 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 21,672 | 22,519 |
| 長期貸付金 | 124 | 121 |
| 繰延税金資産 | 1,828 | 1,857 |
| その他 | 1,785 | 1,820 |
| 貸倒引当金 | △108 | △107 |
| 投資その他の資産合計 | 25,302 | 26,211 |
| 固定資産合計 | 133,570 | 133,544 |
| 資産合計 | 184,302 | 182,225 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,030 | 9,316 |
| 短期借入金 | 2,187 | 7,127 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,400 | 5,400 |
| リース債務 | 59 | 60 |
| 未払法人税等 | 1,600 | 611 |
| 賞与引当金 | 2,173 | 2,707 |
| 役員賞与引当金 | 157 | 37 |
| 災害損失引当金 | 251 | 172 |
| 設備関係支払手形 | 795 | 354 |
| その他 | 6,264 | 7,065 |
| 流動負債合計 | 28,919 | 32,854 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,800 | 10,800 |
| 長期借入金 | 10,775 | 5,753 |
| リース債務 | 127 | 111 |
| 繰延税金負債 | 4,551 | 4,486 |
| 退職給付引当金 | 5,188 | 5,238 |
| 役員退職慰労引当金 | 878 | 228 |
| その他 | 659 | 991 |
| 固定負債合計 | 32,981 | 27,608 |
| 負債合計 | 61,900 | 60,462 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,316 | 11,316 |
| 資本剰余金 | 12,332 | 12,332 |
| 利益剰余金 | 98,985 | 98,690 |
| 自己株式 | △6,128 | △6,130 |
| 株主資本合計 | 116,505 | 116,209 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,411 | 6,280 |
| 為替換算調整勘定 | △1,783 | △1,950 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,627 | 4,329 |
| 少数株主持分 | 1,268 | 1,223 |
| 純資産合計 | 122,401 | 121,762 |
| 負債純資産合計 | 184,302 | 182,225 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 30,604 | 28,912 |
| 売上原価 | 26,617 | 26,233 |
| 売上総利益 | 3,987 | 2,679 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,689 | 1,751 |
| 営業利益 | 2,297 | 927 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 94 | 59 |
| 受取配当金 | 99 | 105 |
| 受取賃貸料 | 17 | 16 |
| 持分法による投資利益 | 119 | 49 |
| 雑収入 | 145 | 168 |
| 営業外収益合計 | 476 | 400 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 107 | 92 |
| 為替差損 | 80 | 45 |
| 投資有価証券評価損 | 376 | 27 |
| 雑支出 | 22 | 28 |
| 営業外費用合計 | 586 | 192 |
| 経常利益 | 2,188 | 1,134 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 7 |
| 貸倒引当金戻入額 | 24 | — |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 9 | — |
| その他 | 3 | — |
| 特別利益合計 | 41 | 7 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1 | 4 |
| 固定資産除却損 | 3 | 12 |
| 持分変動損失 | — | 7 |
| 特別損失合計 | 4 | 24 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,225 | 1,117 |
| 法人税等 | 1,064 | 687 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,161 | 430 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 18 | △40 |
| 四半期純利益 | 1,142 | 471 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,161 | 430 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,852 | △130 |
| 為替換算調整勘定 | △306 | △176 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 4 | 11 |
| その他の包括利益合計 | △2,154 | △295 |
| 四半期包括利益 | △993 | 135 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,011 | 173 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 18 | △38 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 運送事業 | 倉庫事業 | 梱包事業 | テスト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,377 | 4,363 | 8,302 | 1,838 | 28,881 | 1,722 | 30,604 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 47 | 64 | 101 | 6 | 219 | 219 | 439 |
| 計 | 14,425 | 4,428 | 8,403 | 1,844 | 29,101 | 1,942 | 31,044 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 556 | 884 | 643 | △28 | 2,055 | 170 | 2,225 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 2,055 |
| 「その他」の区分の利益 | 170 |
| その他の調整額(注) | 72 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,297 |

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 運送事業 | 倉庫事業 | 梱包事業 | テスト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,299 | 4,368 | 7,014 | 1,816 | 27,498 | 1,414 | 28,912 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 31 | 88 | 151 | 2 | 273 | 294 | 568 |
| 計 | 14,330 | 4,457 | 7,165 | 1,818 | 27,771 | 1,709 | 29,480 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 140 | 998 | 28 | △266 | 901 | △42 | 858 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 901 |
| 「その他」の区分の損失 | △42 |
| その他の調整額(注) | 68 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 927 |

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。